

旧若杉小学校跡地の本格活用に関するオープンハウス（令和7年3月開催分）アンケート等の結果

問1 ご年齢をお聞かせください

区分	人数
10代以下	1
20代	1
30代	5
40代	6
50代	14
60代	18
70代	5
80代以上	2
未回答	2
合計	54

問2 ご住所をお聞かせください

住所	人数
天沼	13
本天沼	4
上荻	7
清水	8
下井草	3
上井草	1
桃井	4
善福寺	2
荻窪	2
南荻窪	1
阿佐谷北	1
松庵	1
浜田山	1
区外	4
未回答	2
合計	54

問3 この取組（オープンハウス）を知ったきっかけを教えてください（複数回答可）

区分	人数
広報すぎなみ	15
区公式ホームページ	9
区立施設で配布しているチラシ	10
自宅へのポスティングチラシ	9
区公式SNS（LINE, X（旧Twitter））	0
オープンハウス会場を見かけた	12
その他	11
未回答	3
合計	69

（その他の記載内容）

・ワークショップ参加者からの情報
・町会役員から聞いたため
・知人と同行

問4 パネル展示や区職員からの説明で検討内容について理解できましたか

区分	人数
理解できた	35
どちらかという理解できた	16
どちらかという理解できなかった	0
理解できなかった	0
未回答	3
合計	54

(「理解できた」の理由)

だいたい予測の範囲だったから。
区民の声をしっかり聞こうとされている区の姿勢が伝わってきました。杉並区がすてきな区に変わってきているのが嬉しいです。
私自身が結構勉強していたところもあり、区の立場、地域の立場、マネジメントの難しさを理解しているから。
職員の丁寧な説明により、より深く理解できた。
今回のオープンハウスは、計画としてはまだ何も決まっていない段階で、一から地域の意見を聞く会だとわかりました。自由に意見を述べていい段階だと思いました。
職員の説明があったため。
わかりやすいパワポのレイアウトで、見るべきポイントが一目でわかる。各グループの相違点がわかりやすい、比べやすい。
分かりやすい説明で良かった。
パネルも良くできており、説明も丁寧でした。
職員の説明があったため。
以前から見聞きしていたが、分からないところを質問できた。
既存施設の老朽化が進み、スペースの活用方法を検討している。
時系列を捉えた分かりやすい資料でした。
目指す将来像や、ポイントが明記されているから。
資料がわかりやすく作られていたから。
分かりやすくまとまっていた。
時系列で取組みが紹介されていたので。
わかりやすく、ポイントがよくまとまっていたので、理解しやすかった。

(「どちらかという理解できた」の理由)

時間が少なく、全文を読み切れなかったため。それぞれのアイデアがあったので、わかりやすかった。
当日の区職員の対応は大変良かったが、細かい質問に対応できないところもあったと思います（特に児童館、学童について）
資料が見やすい。
区役所の人に説明してもらったため。
わかりやすかった。
よくまとめてありました。

問5 各グループが作成した成果物をご覧ください、今後跡地活用案を検討していく上で、重要だと思った点やアイデアについて、最大2つまで教えてください

グループ	重要だと思った点やアイデア
1	●オープンハウスでの意見 ・旧科学館の復活 ・将来日常を支える、サイエンス&テクノロジーを学ぶ場に ・小柴先生のノーベル賞の業績の常設展示、将来のノーベル賞を期待して 杉並区には美術館がないのでほしい！ 杉並区には多数のアニメ制作会社がある。彼らの創作活動の場、作品発表、市民スクール等の場として活用すれば、より多くの人が集まる空間になるだろう。 ●アンケートでの意見 荻窪駅北側は公園（防災・避難場所として）が少ないので、公園や用途を限定しない建物が必要だと思いました。区切られた部屋の方が利用しやすい。 展示ギャラリーや稽古場、ホールを安く利用できれば子ども、若者、現役世代が興味を持ってくれそう。

	子どもだけでなく、おとなも勉強できる場所（誰でも使えるラーニングスペース）。 次世代の人材育成につながるアイデアが良い。 防災とみんなが集えるという視点。 防災スペースがあるのと複合施設があるのが良かった。複合施設ではお年寄りの方が集まれる地域コミュニティがあると良いと思います！ 防災と地域の活性化につながるアイデアだともう。 防災、オープンスペース、子ども。 観覧席のある小規模ホール、無料で使えるスペース、どのような公園にするのか具体的にしてほしい、現状ある区立施設で対応できるのではないかな。 多様な世代が跡地の効用を享受するべきと考えます。 区財政の視点を入れていること。 地域の意見は重要だと感じます。せっかく出来た施設なのに地域から苦情が入れば子どもたちもののびのびと利用することができなくなることが心配です。
2	●オープンハウスでの意見 施設配置イメージが良い。余分な建物は不要。 外国由来の人々が区内でも多く働き、子どもたちもたくさん育っている。日本社会で暮らし、共生しつつ、母語文化も尊重すべきなのは、隣人として当然。彼女ら、彼らのための施設も考えていくべきだ。 現在ある女性センターはゆう杉並の一部を使う暫定的印象が否めなかった。広くジェンダー平等を目指す施設を今回を機会に杉並区でも旧若杉小跡地にぜひ設置してほしい。 住む場所のない人のために有効的に活用してみれば。 心のいいねボタンを押しました！ ●アンケートでの意見 広さを感じられる空間構成。 防災とみんなが集えるという視点。 若杉小学校を閉校して作られる施設なので、天沼小学校と天沼中学校の生徒の意見は特に重要だと思います。特に天沼小学校では校舎に対して生徒の人数が増えすぎて、子どもたちや保護者に不便を強いている現状を考慮すべきだと感じています。 子どもや高齢者と比べ、中高生や若者に向けた支援や居場所づくりはどうしても弱くなりがちである。この世代を対象とした機能に重点が置かれている点がよい。災害時に最も戦力になるのも中高生や若者世代で、平時から訪れてもらえる場所とすることが重要である。
3	●オープンハウスでの意見 タイムシェアの発想が実に面白い。 建築物は空室へ入ること可能です。 ●アンケートでの意見 0～18歳向きというコンセプトに共感しました。 オープンスペースと建物のバランスが良いと思います。 防災を想定しているところは重要です。 時代の変化とともに、地域住民の構成やニーズが変化してその時々必要となる内容も変化することを考えると、目指す将来像にある種の普遍性が求められると考える。その点、グループ3が示すポイントは適切と判断した。 オープンスペース、ボール遊び可、利用しやすい、行きたくなる場所。 保育園や児童館の整備、芝生、キッチンカーなどのにぎわい。 複合施設と広いスペースが確保されていて、調和が取れている。 子どもや高齢者と比べ、中高生や若者に向けた支援や居場所づくりはどうしても弱くなりがちである。この世代を対象とした機能に重点が置かれている点がよい。災害時に最も戦力になるのも中高生や若者世代で、平時から訪れてもらえる場所とすることが重要である。 荻窪駅北側は公園（防災・避難場所として）が少ないので、公園や用途を限定しない建物が必要だと思いました。区切られた部屋の方が利用しやすい。
4	●オープンハウスでの意見 どの案も良く考えられていて共感します。防災を真ん中に、日々は子どもたちがのびのび遊べて、災害時に必要な食堂、トイレ大事だと思います。 防災重視は共感します。ただし、災害時はただ広い体育館や雑魚寝や段ボールで区切る従来方針を見直し、高齢者、障がいのある人、授乳中の母子など、それぞれのニーズに合わせた空間を独立して提供できるように、普段の施設が転用されるような設計を考えてほしい。また、温かい食事が災害早期から提供できるシステムも、施設とともに探求してほしい。 密集地域には消防署は必要！！消防署の指導など受けられ、地域としては一つになって協力したい。

	あまりお金をかけずにとにかく早くとりかかってほしいです。いつまでも中途半端で放置しないで、もったいないです。
	防災公園にして、何も建物を置かない広場にするのが良いと思います。
	・防災公園が広い ・消防署が防災に大活躍 ・複合施設も良い いいね！
	・グリーンインフラ ・緑化対策 ・子どもの居場所
	●アンケートでの意見
	防災公園は今後必要だと思う。
	防災対策は強化が必要な地域。日常は、公園やイベントスペースとして利用できると良いです。
	消防署の出張所が含まれる点。
	防災を考えている。子どもの居場所になれそう。
	荻窪駅前近辺に大きな公園がないため、防災上はとても良い案だと思った。またコンパクトな複合施設ともセットでバランスが良い。
	荻窪近辺は住宅が密集しているので、大規模災害に備えた防災の拠点が必要だと思う。
	震災救援所としての機能は今後も残し、充実させることが必要。一定人数を収容できる建物と広いオープンスペースが、震災救援所の視点を持って設けられている点がよい。
	防災、オープンスペース、子ども。
	防災の時、日々の使い方、両方を考えていただけるとありがたいです。日々は子どもたちの遊び場、みんなの食堂、カフェ、トイレなど大事だと思います。
	荻窪駅北側は公園（防災・避難場所として）が少ないので、公園や用途を限定しない建物が必要だと思いました。区切られた部屋の方が利用しやすい。
	防災拠点、防災公園。
	防災公園、令和9年4月1日解体開始に合わせてスケジュールを組む。
	防災性。
	防災、特に広域の火災からの逃げ場所の確保と、この広場自体を火から守るための大量の水の確保。地下にタンク設置、放水設備設置など。
	消防署の誘致。
	震災救援所が必要か最初に検討してほしい。
	消防署跡地の活用（都との財産交換）を考えてください。
	防災公園とした明確な目的利用。
	火災の延焼を防ぐために広めの公園があるといいと思う。
	防災拠点としていい。
	やはり 防災 重視。
	区以外の施設（消防署出張所）の課題を盛り込んでいること。
	防災の拠点とすることに注目しました。複合施設地下に防災倉庫をつくること。キッチンカーが入れる広い広場などいいと思います。
5	●オープンハウスでの意見
	「防災拠点」といっても日常的に使っている人たちが大事な（ポイントとなる）人材になるので、そんな人たちが集まれる機能が大切だと考えます。
	防災拠点、地域の交流の場。
	●アンケートでの意見
	防災を想定しているところは重要です。
	オープンスペースと建物のバランスが良いと思います。
	誰でも使える施設。
	荻窪北口の防災拠点として活用すべきと考えます。
	20～50代の世代の施設ができるのは良いと思います。
	首都直下型の大地震の発生は待ったなしの状況である。
	いざというときの防災拠点。
	7つの案の中では一番いいと感じた。災害への備えと同時に、特に日常のつながりに活かせるというのがいい。
	防災拠点、防災公園。

	防災性。 防災、特に広域の火災からの逃げ場所の確保と、この広場自体を火から守るための大量の水の確保。地下にタンク設置、放水設備設置など。 荻窪駅北側は公園（防災・避難場所として）が少ないので、公園や用途を限定しない建物が必要だと思いました。区切られた部屋の方が利用しやすい。 小～大（18歳～20歳）の子たちの居場所が必要。福祉機能は災害時にも使えるので良い。 0～18歳向きというコンセプトに共感しました。 震災救援所としての機能は今後も残し、充実させることが必要。一定人数を収容できる建物と広いオープンスペースが、震災救援所の視点を持って設けられている点がよい。 防災とみんなが集えるという視点。 子どもや高齢者と比べ、中高生や若者に向けた支援や居場所づくりはどうしても弱くなりがちである。この世代を対象とした機能に重点が置かれている点がよい。災害時に最も戦力になるのも中高生や若者世代で、平時から訪れてもらえる場所とすることが重要である。
6	●オープンハウスでの意見 お祭りなど、楽しめる場所になりそうなのが良いですね。 福祉機能がついていることが大事だと思います。カフェで収益をあげていけると、修繕などに使えるので良いと思います。 Wifiや調べものためのパソコンなどもある自習室があると便利だなと思います。一息つけるカフェやあたたかいものが飲めるドリンクバーなどもあったら嬉しいです。 POINT①はもっともだと思うが、駅の向こう側（荻窪駅南口）が比較的交通の便が良いことから、遠方の人も使う施設にする方が旧若杉小跡地利用としては合理的と思う。地域の人が集まる場所は増えつつある。高齢者や幼児、小学校低学年でも行ける場所にいくつも作る方が人と人をつなぐ場として適すると思う。 わがまち一番体操の開催教室の場所を確保してほしい。 ●アンケートでの意見 幅広い年齢層の人たちが集う。木陰を散策できる散歩道。イベントができるオープンスペース。 小～大（18歳～20歳）の子たちの居場所が必要。福祉機能は災害時にも使えるので良い。 地下に駐輪場は良いと思います。 災害時に避難場所として使える体育館があるといいと思う。また、図書館の本の返却ができると便利。 防災とみんなが集えるという視点。 障害児が安心して過ごせる施設があると良い。 図書館の機能、ラーニングスペースが必要だと思う。 世代や用途を問わず誰でも使える場所。 震災救援所、駐輪場、福祉施設。 体育施設ではないとシャワー室は整備しにくいと思うので、検討してください。 コンセントの使用法の検討をお願いします。
7	●オープンハウスでの意見 子どもが楽しめたり、小学生が運動会などで使えるスペースが欲しいです。防災施設や緑の多い公園のような場所と併用できると良いかも！！ 児童館の遊戯室があれば、体育館がなくても暑い時でも子ども遊べますね。 地域の健康増進につながるアイデアは必要だと思う。 児童館と学童は別にしてほしい。 ●アンケートでの意見 保育園や学童・児童館があり、スッキリまとまっている。 住居も職場も近隣です。昼食を取ったり、昼休みを楽しむスペースが欲しいです。 誰でも使える施設。 自分が最も必要と感じているのが子どもが自由に運動できるスペースとしての体育館が欲しかったから。また、オープンガーデンは地域の憩いの場となると共に防災スペースなどで使えると感じた。天沼小学校の校庭が狭くなっていて運動会などが以前と比べて縮小しているのでオープンガーデンを校庭のような設計にして貰えると嬉しいです。 立地を活かして、衛生病院の特徴である健康教育を区民が身近に取り組める場を提供できれば、区民の健康寿命が延び、医療費の支出の抑制につながる。 子育てを中心としているところが住みやすい街になると思った。 高齢者の多い中、健康増進につながるプロジェクトを考えてほしい。 消防署の誘致。

震災救済所としての機能は今後も残し、充実させることが必要。一定人数を収容できる建物と広いオープンスペースが、震災救済所の視点を持って設けられている点がよい。
みんなの居場所と防災公園の融合。
児童館と保育園、学童をわけることは良いと思います。
施設が多くて公園機能の低下が心配。

問6 7つのグループの成果物のほかに、今後跡地活用案を検討していく上で、あなたが重要だと思うことがあれば、ご自由にご記入ください

全員が利益を享受できる施設ができると嬉しい。
駅に近く、住宅密集地区でもあります。防災への備えは必須。衛生病院もすぐ近くなので、発災時の防災拠点になる様に利用してほしい。
子どもの居場所を考えてあげることが大切だと思います（老人向きの施設が多すぎる気がします）。
広いスペースを有効に使い、若い人の居場所もぜひ。
災害時に避難する場所・公園として利用するには、周りの道路が狭すぎます。たどり着くのが困難な場所かと考えられます。解決策があるかどうかわかりませんが、このままだといざという時、利用できないともったいないです。
50年後、子どもたち・孫たちの世代になった時に残してくれてよかったと思ってくれるものができたら良いと思います。
1日も早く解体実行。有効資産の空転は税金の無駄使い。
隣接する衛生病院は、病気の治療、早期発見だけでなく、新幹線に禁煙車両を設けることにも影響した。50年以上前から禁煙活動等の健康教育に取り組んでおり、世界の長寿エリアに選ばれたロマリンダ地区に系列の医学大学等の拠点を持っている病院なので、区民の健康にも有効な活動の拠点になることを期待しています。
教育の領域を超えて、地域の必要に応える有効な活用法を考えてほしい。
建物は必要以上には不要。体育館はこのまま残すことを考え、屋上プールは外して下への影響を軽くしてはと思う。
現在校内にある植栽などはうまく活用してほしいと思った。
せっかくの機会です。建物で埋めず、緑化をお願いします。土地の周りを桜で囲むのも一案です。
わがまち一番体操の開催場所がほしい。
広さを活かしたオープンな建物に。1階ピロティー。今ある樹木は生かしたい。
子どもや高齢者のために、人目があるスペースが必要だと思います。安全が難しい時代です。日常、災害時の安全・安心のために活用していただきたいです。住民だけでなく、地域内で働く方にも利用していただけるといいですね。
災害時の拠点となる場所になることを希望します。
100年後を見据えた施設。
区の財政を考えた施設。
土地場所が良いので、収益化の検討。
区長がもし変わっても問題のない施設。
区民の代表である区議との対話を増やしてほしい。
一部の区職員だけでなく、もう少し現場の職員にも問題意識を持ってもらいたい。
複合施設の中に、eスポーツやアーバンスポーツをやれる場所を作してほしい。他区では、無料で用具の貸出をしているところもある。
杉並区の中で、地域格差がでない施設づくり。
上荻児童館や保育園は今の場所での需要があると思うので、建て替えのための一時的な使用なら仕方ないが、そのものを移転してしまうのはどうなのか?岸本区政の区立施設マネジメント計画=学童需要や児童館新設の方針からすれば、移転ではなく第二学童など拡充のためでなければ住民の理解を得られないのではないかな。
広い空間、ストリートピアノなど音楽につられてつい寄ってしまうような楽しい場所作り。障がい者の雇用につながるような場所作り。
0～18歳の子供と子育て世代が使える場所。
地域のにぎわいの視点。教会通り商店街を始めとした商店街との連携を、抽象的にではなく具体的にすべきでは。ワークショップとは別に意見聴取はしているのか。
屋外のオープンスペースはできるだけ広く取ったほうがいい。
近隣のウェルファーム杉並には、発災時に災害ボランティアセンターが設置される予定だが、このスペースだけでは何かと不足するため、災害ボランティアセンター最寄の震災救済所として発災時に連携できるように機能を考えておけばよいと思う。
まず、オープンハウスは区の職員と個別の区民との間でやり取りするだけなので、ワークショップ参加者の中の少数意見を知らずがなく、「多数意見こそ裁量」というような区の考えが見え隠れする。また、ワークショップに対する他の人々の意見も聞きたいがそれを聞く機会もない。オープンハウス形式のほか、一堂に介し、着座形式での「説明会」のような機会をつくってほしい。
セミナー等が開かれるような大教室とか講演会場が近くに見当たらないのであればと良い。

防災公園の機能は備えてほしい（コーヒーショップ程度の飲食店があれば嬉しい）。
天沼の地域やその周辺地域に住んだり、仕事をしたりしている人たちの意見をどれだけ多く取り入れているかを大事にしてみたい。そうすれば、「地域とのつながり」が強くなります。
時代の変化による住民の潜在ニーズの変化に柔軟に対応できる跡地利用を考える必要があると思う。
区内には勉強できるスペース、図書館の本を気軽に貸出返却できる場所が少なすぎます。その2つの機能は必須だと思います。
防災スペース、体育館（避難場所にも活用できる広さ）、運動会が出来たり公園のように緑がいっぱいあるようなオープンスペース、地域で集まれるような複合施設。
特に夏場は猛暑日が続き、安心して子どもたちが外出できる場所がありません。子どもたちが利用できる、天候に左右されない安全に配慮した施設になって欲しいです。
運営費が税金を極力使わなくて済む工夫。
更地にして。
即刻 開始まずは解体から。

問 7 その他、旧若杉小学校跡地の本格活用に関するご意見等があればご自由にご記入ください

●オープンハウスでの意見

民間もあり。
消防は必要ならば地域になくてはならない施設。
誰がいつ決定するのですか？

●アンケートでの意見

できるだけ早く進めていただき、自分の目で完成を見たい。
大きな施設をつくるのではなく、広場として活用する方が良いと思います。
核シェルターなど、有事の際の備えも今後の検討事項になると思います。
令和9年度中ではなく、令和9年4月1日解体開始。実行あるのみ。もうすでに、18年も待たされている。
地域の住民及び事業所とコラボできるプロジェクトにしてほしい。
天沼地区に足りないものは「空地」。これは譲れない。消防署の件も重要事項。ただし、道路付けが悪いと思います。
震災救援所は絶対に必要。跡地活用ではないが、解体する前に卒業生に校舎とお別れをさせて欲しいです。
病院も近いので、土地を上手く活用いただくのが良いと思う。旧校舎は古いので耐震面は心配もある。この近辺は、住まいを変えずに過ごしている方も多いため、若杉小の名残が残ると嬉しいと思う。
建物の高さ、現在の校舎よりも高いものは決して建てないよう、切にお願いします。
上荻保育園の移転場所する案は賛成する。ただし、そのみで跡地をすべて使ってしまうのは考えものだ。
欲張らず、広場を活かす、原っぱ感。一人でふらっと来ても落ち着く場。コアとなる管理スペースは必要。楽しみです。
今回、チラシをいただいてこの取組を知りました。もう少し広報していただけるとありがたいです。紙ではなく、専用WebサイトとかSNSでもいいのでは？
幼稚園の先生にも意見を聞いてみたらいかがでしょうか。現地を利用している方の良い方法が聞けるのではないかと思います。
子どもや老人にとって使い勝手良い施設は多くの人にとって使いやすいものになると思います。ユニバーサルな視点から、計画をしてゆくことを期待します。
早く作ってほしい。
上荻児童館が移転するのなら、中高校生機能優先館、学童クラブの問題を解決しないといけないと思うので、子ども家庭部との調整をお願いします。
ゆう杉のような大型児童厚生施設の設置。
杉並区の中高学年から高校生までが使える施設。
中央線の北側の子どもたちのためにつくってもらいたい。
本当は20代からも使える区民施設がほしい。
天沼小学校の学童移転の問題をもう少し掘り下げてほしい。
上荻児童館の移転の問題をもう少し掘り下げてほしい。
オープンハウス→ワークショップ→オープンハウスの順番でやってほしい。
本格活用を検討するに当たっては、近隣の住宅に騒音がないようにしてほしい。
現在の建物よりも高さの高い建物は、決して建てないで下さい。桜の木は、絶対に切らないで下さい。

パネルは、各ワークショップグループの公約数なのだと思うが、私が考えていたようなことを書いているグループはなく、少々かすったくらいであったので、このまま「素案」のようなものが作られるのは承服できない。各ワークショップグループ提案にはないことに関心を持つ区民の意見を問う手続きも保障してほしい。
消防署の設置（日大二高通りの移転）、キッチンカーの誘致、より多くの人に利用される場所に。
荻窪消防署天沼出張所は今の場所の方が交通の便は良い。災害時の避難所として活用するのは消防署の機能とは異なるので、必ずここに必要とは思わない。都もあらゆる可能性を追求すべき。
ポケモンGOのジムやポケストップを置いて、ワクワクするようなかわいいステッカーがもらえると嬉しい。
0～18歳の子供と子育て世代が使える場所。
岸本区長を支援する特定の方々の政治主張、自己実現の場にならないようにお願いします。岸本区長の任期は永遠ではありません。対立を生まない活用をお願いします。日常生活の平和と安寧を望みます。最近、街中の係争と対立を助長する杉並区になっているように感じます。
丁寧に仕事を進めていると感じます。
旧東中野小学校跡地の東中野区民センターは、地域住民の声を受けて整備したが閑散としている。このようなことになる恐れがあるので、建物を整備する場合は、運営を見据えた内容にしてほしい。
消防署の移転は周りの道路が狭く、消防車の出入りが難しいと思う。
地元町会など、人材も必要です。日頃から、みんなに活用して貰える施設であることも大切ですね。
箱物の建設にお金をかけるより、もっとそのコンテンツにお金をかけるべきと思う。
断水時の時のための給水場所を作ってほしい。
早く実現させて欲しい。
おとなも勉強できる場所が減ってしまったので、「勉強カフェ」のような場所を希望します。
若い世代の関心が高まっていないと思うのでインスタグラムなど活用してSNSにも力を入れてもらえると参加しやすくなると思います！
公開が何年も先にならない様をお願いします。
シンボルツリー（桜や樺など）があると良いと思う。
早く建物を解体してください。
丁寧に進められており、良いと思いました。
若杉小学校のOBです。2008年に閉校して、2024～2025年に活用検討を開始するのはあまりに遅すぎると思う。だが過ぎてしまった年月をとにかく言っても仕方がないので、区民にとってベストな結果になればいいと思う。